



土木職 の実務





土木職の配属先について



土木職員

県庁



県庁建設部 土木職101人

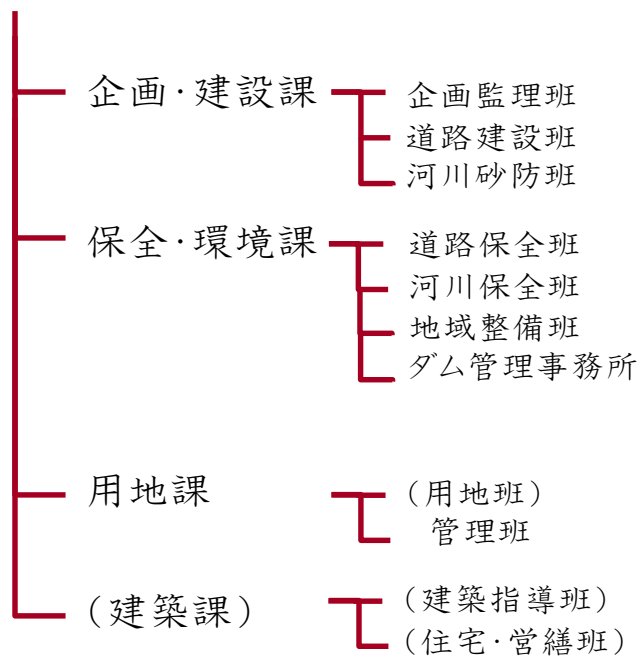
(下表の人数は所属ごとに示しており上記総数とは合致しません)

	事務 他	土木職員
建設政策課	30	9
技術管理課	5	7
都市計画課	3	9
下水道マネジメント推進課	13	9
道路課	2	17
河川砂防課	2	18
港湾空港課	4	10
(建築住宅課)	16	-
(営繕課)	12	-
港湾事務所[秋田・船川・能代]		
空港管理事務所[秋田・大館能代]		

地域振興局



地域振興局建設部 8地域 土木職260人



	事務 他	土木職員
鹿角	8	23
北秋田	27	42
山本	11	29
秋田	39	54
由利	10	27
仙北	24	33
平鹿	9	24
雄勝	11	28

※備考

1)職員数はR6.4.1 現在

2)地域振興局の組織は代表的な構成を記載

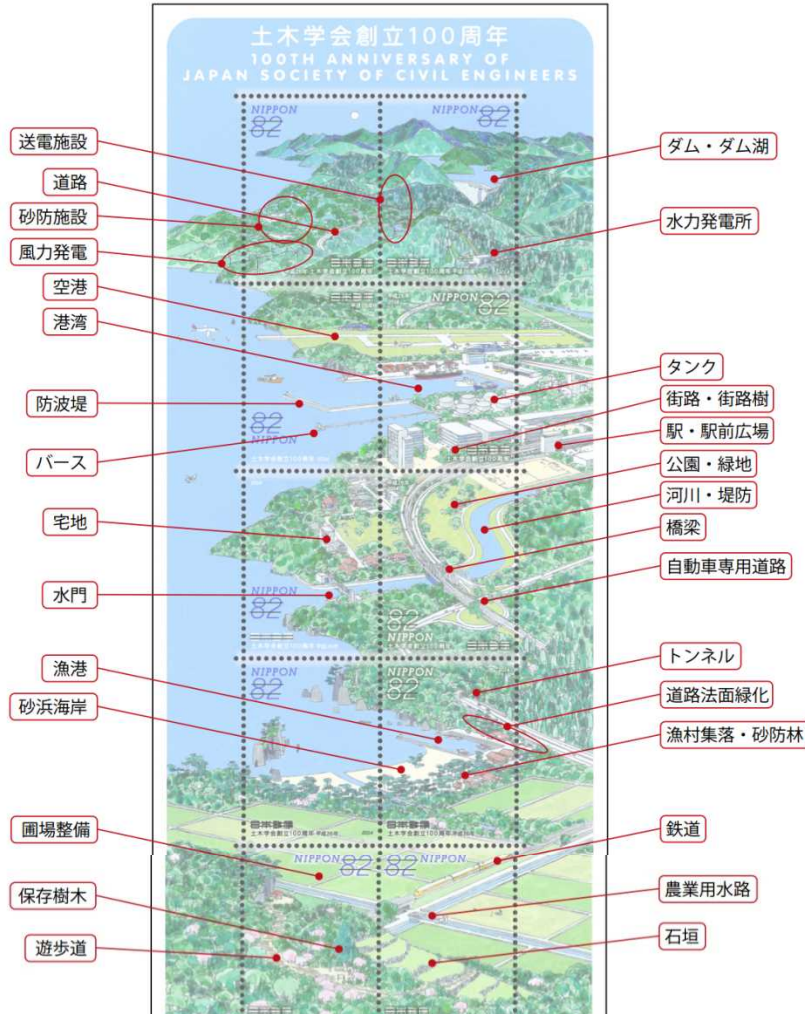
3)()表示は土木職員が配置されていない課所



土木職の主な業務内容 ～土木技術とは～



土木職員



土木学会創立100周年記念切手

(2014.9)発行

土木技術は、自然災害から
人の暮らしを守り、社会・経済
活動を支える基盤をつくるととも
に、良質な生活空間を実現し
ています。



土木職の主な業務内容 ～本庁と地域振興局の役割～

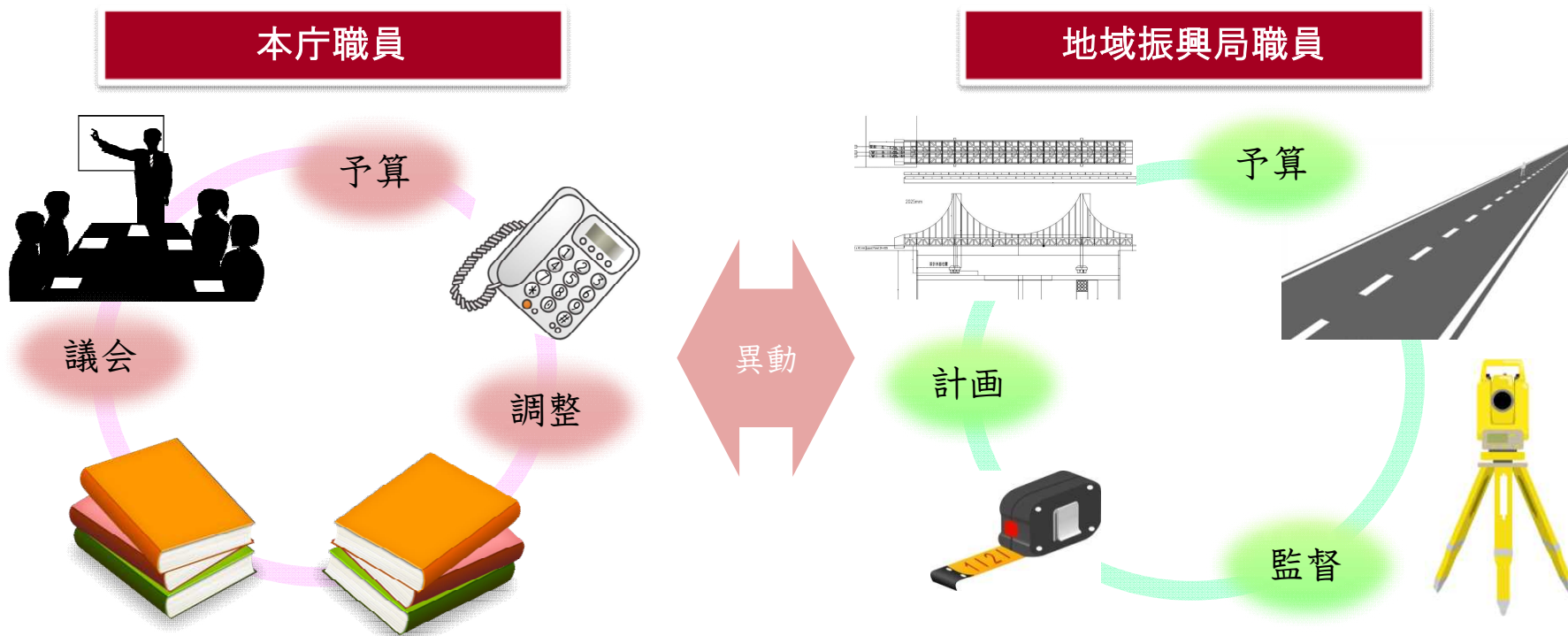


土木職員

土木職員は、公共の福祉の増進を目的として、道路や橋、上下水道、港湾、ダムなどのインフラの整備や管理を行う役割を担っています。

各事業を推進するため、本庁職員は「予算」や「公共事業評価※¹」、県議会などに関する調整を行い、地域振興局建設部の職員は事業を実際に進めるための「調査」「計画」「設計・積算」「工事監督」を行うとともに、事業に関係する市町村や機関との調整等を行います。

本庁・地域振興局とも、概ね3～4年サイクルで異動があります。



※1 公共事業の効率性や実施過程の透明性の向上を図るために行う評価

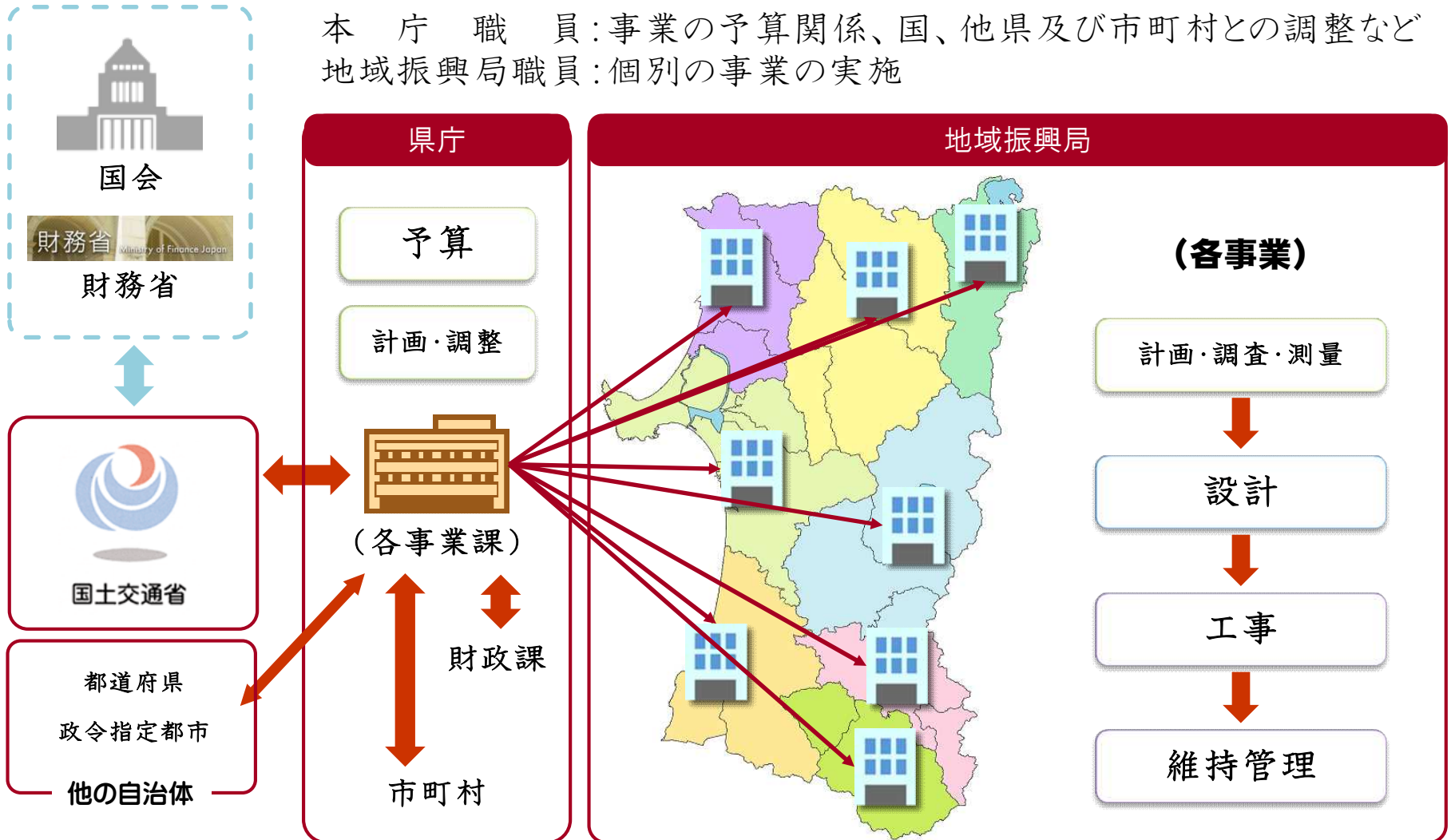


土木職の主な業務内容 ～他機関との関係～



土木職員

本 庁 職 員：事業の予算関係、国、他県及び市町村との調整など
地域振興局職員：個別の事業の実施





土木職の実務

～本庁勤務職員(都市計画課)～



ある日のスケジュール

土木職員

8:30 出勤

業務開始

- ・メールの確認
- ・各種調査物対応

9:30

大館市へ出張

- ・市との打合せ
- ・現場調査

12:00

昼休み

13:00

15:30

帰庁

- ・各種調査物対応
- ・補助金の交付申請手続き
- ・国・市町村との電話打合せ

18:00 帰宅

- ・自宅で家族と団欒

私の職場はこんなところですよ

都市計画課は、県の都市計画をソフト・ハード面から計画していく課です。国・他県・市町村等と連携しながらこれからの県の都市の在り方を考えています。

県の土木職員のやりがいはコレ！

土木職員は特に、地域住民の方々と直接やりとりし、苦情・要望をお伺いする機会があります。

その際に、説明能力やコミュニケーション能力が求められることはもちろんですが、そんな固いことを言わず、まずは同じ秋田県民という立場で、会話をを行うことで、気持ちをくみ取り、理解し、円滑なやりとりができます。その結果、よりよい結果を生むこともあります。時には時間を要することもありますが、最終的に地域住民の方々との会話により、「よかった、ありがとう」と満足して頂き、感謝されることがやりがいです。



秋田市横町の街路事業
都市の円滑な通行のため、両側通行に整備予定です！

こんな仕事をしています

県および市町村が街路事業を行うのに必要な補助金等を国へ要望する業務を行っています。

都市の交通の流れ・歩行者の安全・将来の交通量を予測したりして、真に必要な、計画的な街路を整備すべく、日々検討しています。検討には、昨今の情勢をつかむことが必要となるため、国の説明会に参加したり、市町村と協議します。また、実際の現地を見て、現状の課題等を実際に調査することも必要です。



土木職の実務

～地域振興局勤務職員(道路保全班)～



ある日のスケジュール

土木職員

8:30 出勤

業務開始

- ・現場代理人との電話打合せ
- ・県民の方から要望を聞き取り

9:00

舗装補修現場確認

- ・路面切削後の出来形を検測
ひび割れ状況を確認

11:00

要望箇所の状況確認

- ・県民の方から寄せられた要望の
状況を確認し、対応を検討

12:00

昼休み

13:00

- ・要望の対応方針・工法を施工
業者と打合せ、書類とりまとめ

14:00

- ・工事発注設計書の作成

17:15 退庁

18:00

- ・子どもを保育園へお迎え
- ・帰宅

私の職場はこんなところですよ

道路保全班では、県管理道路を安全に通行するための維持管理を行っています。

道路の維持といっても、舗装をはじめ防護柵、側溝、法面等、管理する部分は多岐にわたります。

こんな仕事をしています

私たちが身近に利用している道路の舗装は、車両の通行や天気によって日々劣化します。ひび割れ、穴ぼこ等がなく安全かつ快適な通行ができるよう、舗装を補修する工事の設計や発注、監督などの業務を担当しています。



県の土木職員のやりがいはこちら！

県が管理している土木施設には主要なものが多くあり、県民にとっても身近なものです。周辺住民の方たちの秋田県をより良くしたいと思う気持ちに県民として寄り添い、実現するために計画・施工することができます。住民の方からのお礼の電話や手紙は、何度いただいても嬉しく、心があたたかくなります。



重要施策

～秋田県を支える社会基盤の整備～



土木職員

災害復旧関係事業

2017(H29)～2022(R3)

災害復旧助成事業(檜岡川、上溝川)
災害関連事業(淀川、土買川)



被災状況写真

土買川



上溝川



檜岡川



平成29年7月22日から24日の梅雨前線豪雨により、県南部を中心に多数の家屋浸水被害や、道路が冠水したことによる通行止め等、甚大な被害が発生しました。

特に被害の大きかった大仙市を流れる淀川、土買川、檜岡川や横手市を流れる上溝川において、事業期間5年、延長約11km、総事業費243億円の災害復旧関係事業(4河川合計)により河川の整備が行われました。改良復旧事業として整備し、再度災害防止のほか、環境に配慮した川づくりが行われました。

災害復旧前後写真(檜岡川)

着手前



完成





重要施策

～秋田県を支える社会基盤の整備～



土木職員

秋田中央道路

1997(H9)都市計画決定
2007.9.15(H19)開通



工事前は
渋滞がひどかった！



秋田駅東西間を結ぶ手形陸橋
と明田地下道は、慢性的な交通
渋滞により流通が滞るなど、経済
損失が深刻な状況にありました。



延長2.5km、総事業費663億円、
調査期間も含め約10年の大事業
により新たな自動車専用道が完成
したことで、周辺道路の渋滞が緩
和され、環境保全や経済活動の
活性化に貢献しています。



延長の2,000mの地下トンネルで、
秋田市街地の渋滞を解消しました！



●二酸化炭素(CO2)の削減効果(森林効果)
千秋公園約19個分の森林のCO2吸収量に相当



CO2
年間約3300t削減
(約2%削減)

※森林のCO2吸収量は1haあたり年間10.6tとして換算。千秋公園の面積は16.29ha。

●浮遊粒子状物質(SPM)の削減効果(ペットボトル換算)
500mlペットボトル約21,000本分の体積に相当



SPM
年間約2.1t削減
(約4%削減)

※500mlペットボトル1本はSPM約100gとして換算。



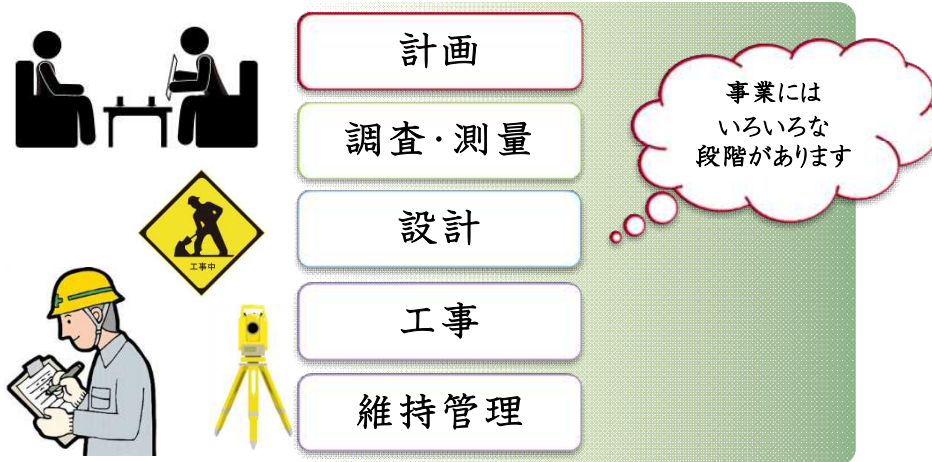


土木職員のやりがい



土木職員

事業の全体調整をするプロジェクトマネージャー！



土木事業は、調査・測量、設計、工事の各専門企業等と調整を図りながら、リレー方式により完成させます。

土木職員は、予算に過不足が生じないように調整を行うとともに、建設事業の計画から完成後の維持管理まで全体の調整を図るプロジェクト・マネージャーとしての役割を担います。

「計画」は行政職員の腕の見せどころ！

土木職員は、公共事業の計画策定に関する業務を行います。例えば、まちづくりをする時には、住民説明会を開いて聴取した意見や事業予定地の地形・地質条件を考え、関係する法律などに基づいて利害関係者の調整を図りながら、事業に必要な工程を整理し、事業全体を円滑に進めるための「年次計画」としてまとめます。



事業年次計画

※年次計画は参考であり、変更も考えられますので御了承下さい。





土木職員のやりがい

土木職員

地域の「安全・安心」を守る

県民の生命や財産を守り、県民が安全に安心して暮らせるよう、自然災害を未然に防止する道路や堤防といった公共土木施設の整備を進めています。それでも、想定を超える自然災害の発生などで公共施設が損壊した場合は「災害復旧事業」を行います。

このとき、土木職員は現地の状況を正確に把握するとともに、設計や応急復旧工事の総合調整を行うことで、早急な復旧に努めます。

舗装補修



水害によるスノーシェッド(雪崩対策施設)の被災



橋梁点検



土砂災害対策後



災害復旧後





土木職員のやりがい



土木職員

多様な専門知識の習得ができる！

施策や事業を円滑に推進するため、土木職員は様々な専門知識や技術力を身につける必要があります。そのため建設部では土木職員を対象とした各種研修を毎年開催しています。

研修には、県が開催するコンクリートやアスファルトの品質管理等に関する専門研修のほか、実務を通じた職場研修(OJT)や国土交通大学校など他の機関が実施する研修への派遣研修もあります。

研修により、多様な業務への適応力や迅速・的確な処理能力を持つ人材の育成を図っています。

＜R01実施状況＞参加人数 656 名

- 集合研修【一般研修】（新技術・新工法説明会、システム研修他）
- 集合研修【専門研修】（技術研究発表会、測量実務研修他）
- 派遣研修（国土交通大学校、東北地方整備局主催研修他）
- その他研修（鋼橋・PC橋技術研修会、品質セミナー他）



コンクリート研修



測量実務研修



CAD研修



設計VE研修

技術の研鑽も
急りません！



土質・地質研修



技術研究発表会



将来の職業を考えているみなさんへ



土木職員

将来の職業についてお考えの皆さん、秋田県の土木職員として一緒に働きませんか？
元気な秋田をつくるために共に汗を流してくれる仲間を心からお待ちしています！

